News Release

2016 年 10 月 11 日
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

平成 28 年度 農林水産分野の生物多様性連携シンポジウム「自然資本でつなげる･つながる～生物多様性保全の経済的連携に向けて～」開催のお知らせ

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区 社長:藤井 秀延)は、農林水産省･京都大学･東京大学とともに、11 月 22 日(火)に農林水産省本館 7 階講堂において、平成 28 年度農林水産分野の生物多様性連携シンポジウム「自然資本でつなげる･つながる～生物多様性保全の経済的連携に向けて～」を開催しますので、お知らせいたします。

1. 開催目的

本シンポジウムは、生物多様性保全活動を地域価値向上に繋げていこうとする活動事例を学び、今後の農山漁村地域の生物多様性保全活動を効果的に促進していくための方策を考えることを目的としています。
当日は、平成 27 年度から実施している、農林水産政策研究所委託研究成果から、自然資本の価値評価の方法や企業と地域とが連携することにより生み出される経済効果について知見を高めながら、農林漁業者の方々や企業などの多様な主体間の相互理解を深めていきたいと考えます。
なお、本年は多様な主体をつなぐ「連携推進機関」の役割と期待にスポットをあてて開催します。

2. 開催概要

【テーマ】自然資本でつなげる・つながる ～生物多様性保全の経済的連携に向けて～

日 時	平成 28 年 11 月 22 日(火) 14 時 00 分～17 時 00 分 (13 時 30 分開場)
会 場	農林水産省 本館 7 階講堂 (東京都千代田区霞が関 1-2-1)
対 象	本シンポジウムは、生物多様性に関心のある企業、団体、農林漁業者、地方自治体等を対象としておりますが、プログラムにご興味のある方であればどなたでもご参加いただくことができます。
定 員	200 名 (参加無料、先着順、事前申し込み制:11 月 18 日(金)〆切) (注) 参加申込者数が定員に達した場合は、予定の期日より早く受付を締め切らせていただきます。
プログラム (予定)	13 時 30 分 開場 14 時 00 分～14 時 05 分 【開催挨拶】 14 時 05 分～14 時 45 分 【研究報告】 **「農山村地域における生物多様性保全活動の価値向上と価値評価」** 栗山 浩一 (京都大学大学院農学研究科 教授) **「農山村地域と都市の連携を支える連携推進機関の役割」** 橋本 禅 (東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授)

	14 時 45 分～15 時 45 分【事例報告】 **～経済的連携に取り組む現場から～** **「三重のふるさと応援カンパニー推進事業」** 山本 一輝 氏 （三重県農林水産部農山漁村づくり課） **「生物多様性.com」** 鶴田 由美子 氏 （公益財団法人日本自然保護協会（NACS-J） 事務局長） **「生物多様性保全に取り組む農業者との連携」** 古谷 愛子 氏 （特定非営利活動法人オリザネット 事務局長） **「エコ農業とちぎ」** 上岡 啓之 氏 （栃木県農政部経営技術課 主査） 15 時 45 分～16 時 00 分 休憩 16 時 00 分～16 時 55 分【パネルディスカッション】 **「経済的連携を進めていくための具体策と担い手について考える** **～多様な主体をつなぐ「連携推進機関」の役割と期待～」** ［コーディネーター］ 栗山 浩一 ［パネリスト］ 香坂 玲 氏 （東北大学大学院環境科学研究科 教授） 古谷 愛子 氏 上岡 啓之 氏 中川 一郎 （農林水産省大臣官房 環境政策室長） 千田 純子 氏 （環境省自然環境局自然環境計画課 生物多様性施策推進室 室長補佐） 西田 貴明 （三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング株式会社 グリーンインフラ研究センター 副主任研究員） 16 時 55 分～17 時 00 分【閉会挨拶】
共 催	農林水産省、京都大学大学院農学研究科、東京大学大学院農学生命科学研究科、 三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング株式会社
協 力	環境省

3. お申し込み方法

下記のお申し込み専用ページよりお申し込みください。

お申し込み専用ページ URL：http://www.murc.jp/sp/1610/NC2016/form.html

【本件に関するお問い合わせ】
三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング株式会社
TEL（大阪）：06-7637-1460 （担当：梨子本、中尾、西田）
TEL（東京）：03-6733-1005 （担当：遠藤、村田）
E-mail：shizenshihon2016@murc.jp